

祝宴 変 2度大洪水

宮古湾に面し、昔から津波災害のリスクと直面してきた宮古市磯鶏地区。1896(明治29)年の三陸大津波の被害を受けた海嘯記念碑は、宮古市磯鶏石崎

記憶の碑

いしづみ

～石碑編～ 61

宮古市・磯鶏地区

の国道45号沿いにひっそりとたたずみ、すさまじい被害を現代に伝える。

津波後に現地調査した遠野市の実業家山本宗真(1847~1909)年や中央気象台(現気象庁)の記録によると、磯鶏村では900人が死亡した被害を受けた。石碑は磯鶏村民と、漢文で津波襲来の状況を記した。

端午の節句で各世帯が祝いの酒を酌み交わしていた状況が「阿鼻叫喚の地獄」に一変。数回の地震の後、

遠雷のような異音が鳴り響き、大洪水が2度押し寄せた様子を書き写している。

明治の津波関連の石碑は、供養碑が多い中で記念碑と9歳の石に津波の状況や被害など多くの情報を書き残して子孫に教訓を伝えている。

市教委文化課市史編纂室の飯屋雄一郎室長は、恐ろしい津波の被害を詳細に記すことで警鐘を鳴らし、後世の人々の命を守ろうとする当時の住民の思いを感じると分析する。

「子孫守る」思い継承

「目の前が現実と思えなかった。防潮堤がある分、津波に対して住民の間で油断があったかもしれない。東日本大震災の津波を目標とした宮古市磯鶏石崎の三浦直志さん(87)は振り返る。

磯鶏石崎町内会の会長を長く務めた三浦さんは、勤務先から昼休憩で自宅に戻り地震に遭遇。車で妹を自宅へ送り、渋滞したため車を置いて宮古湾を見渡せる同地区の高台に避難した。海面がせり上がった時、防潮堤沿いの国道には車が列をなしていた。「車を捨てて逃げろ」。願いは届かず、津波が防潮堤を超えた瞬間に人車、住宅が濁流に流された。三浦さんは街を破壊する「パバリ」という音を忘れない。

同市磯鶏沖のせけい幼稚園(晴山正子園長、園児140人)の晴山副理事長(86)も九死に一生を得た。当時の園児168人は訓練通り避難所の磯鶏小に避難したが、晴山理事長は「保護者が迎えに来るかも」と残り、交通誘導をしていた最後の1人を磯鶏小へ向かわせた後に津波が来た。

走って逃げたが周囲に津波が押し寄せ、横目に濁流が見えた。息が切れて動けなくなった瞬間に軽トラの知人に救助された。



せけい幼稚園の防災備品を確認し、早期避難の重要性を語り合う三浦直志さん(右)と晴山副理事長(宮古市磯鶏沖)



宮古湾に面した磯鶏地区。住宅の再建も進み、宮古港インターチェンジも開通した(本社小型無人機で撮影)

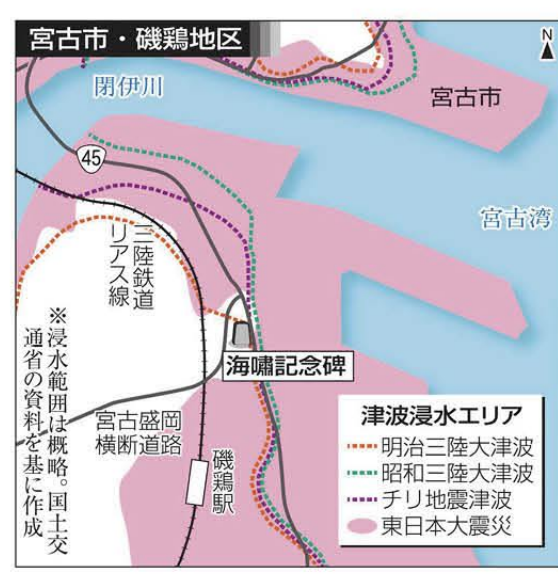


端午の節句で祝宴を開いている宮古市磯鶏地区。阿鼻叫喚の地獄に陥った宮古市磯鶏地区。96名の被害を出した。悲惨な極めたものであった。ここに7年忌を記念し、磯鶏地区一同および愛友団員は記念碑を建設し、後世に伝えるものである。 明治35年5月 (意識、抜粋)

晴山理事長は「自分は大丈夫という意識があった」と反省し、その後は全員の訓練を徹底。今も毎月1度の訓練を続けるなど災害への備えを強化している。

同地区には明治と昭和の津波の記念碑があるが、存在が知られない住民が増えた。2人は石碑の活用など記憶伝承の重要性を強く感じる。

この連載は岩手日報HPでも公開し随時更新します



2011年3月12日 東日本大震災で住宅がなぎ倒された磯鶏地区

新型コロナウイルス感染症に関する相談ダイヤル

西和賀町	西和賀町健康福祉課	0197-82-2270	0197-82-2131
西和賀町	西和賀町健康福祉課	0197-85-3411	0197-85-2119
西和賀町	西和賀町社会福祉協議会	0197-85-3225	0197-85-3234
金ケ崎町	金ケ崎町商工会	0197-42-2710	0197-42-2713
金ケ崎町	金ケ崎町観光課・町内事業者向け相談窓口	0197-42-2111	0197-42-4474
金ケ崎町	金ケ崎町総務課・特別定額給付金問い合わせ	0197-42-2111	0197-42-4474
金ケ崎町	金ケ崎町新型コロナウイルス感染症対策本部	0197-44-4560	0197-44-4337
平泉町	平泉商工会	0191-46-3560	0191-46-3568
平泉町	平泉町新型コロナウイルス感染症対策本部	0191-46-2111	
平泉町	平泉町・特別定額給付金問い合わせ窓口	0191-46-5578	0191-46-3080
住田町	住田町新型コロナウイルス感染症対策本部	0192-46-2311	
住田町	住田町商工会	0192-46-2311	
大槌町	大槌町保健福祉課・総合窓口	0193-42-8715	
大槌町	大槌町学務課・学校等	0193-42-6100	
大槌町	大槌町産業振興課・事業所向け	0193-42-8725	
大槌町	大槌商工会	0193-42-2536	
山田町	山田町水産商工課・事業者の経営、雇用相談	0193-82-3111	0193-82-4989
山田町	山田町健康子ども課・感染症対策について	0193-82-3111	0193-82-4989
岩泉町	岩泉町経済観光交流課・中小企業支援、雇用相談窓口	0194-22-3245	0194-22-5399
岩泉町	岩泉町健康福祉課・総合窓口	0194-22-2111	
岩泉町	岩泉町保健福祉課・感染症対策	0194-22-2111	
田野畑村	田野畑村健康福祉課	0194-33-3102	
普代村	普代村新型コロナウイルス感染症対策本部	0194-35-2113	
普代村	普代村発熱相談窓口	0194-35-2211	
普代村	農林業・商工業者向け相談	0194-35-2115	
普代村	漁業向け相談	0194-35-2116	
野田村	野田村保健センター	0194-75-4321	
野田村	野田村	0194-78-2111	
野田村	大野保健センター	0194-77-3576	
野田村	種市保健センター	0194-65-3950	
洋野町	種市庁舎福祉課・特別定額給付金問い合わせ	0194-65-5915	
軽米町	軽米町	0195-46-2111	
軽米町	軽米町町民生活課・特別定額給付金について	0195-46-4734	
九戸村	九戸村住民生活課・感染予防、特別定額給付金などについて	0195-42-2111	0195-42-3120
九戸村	九戸村総務企画課・商工業者支援などについて	0195-42-2111	0195-41-1005
一戸町	一戸町健康子ども課	0195-32-3700	
一戸町	一戸町税務市民課・納税の猶予について	0195-33-2111	
一戸町	一戸町水環境課・水道料金などの支払期限延長について	0195-33-2111	
葛巻町	葛巻町健康福祉課	0195-66-2111	0195-66-2101
葛巻町	葛巻町総務課・特別定額給付金の申請手続き	0195-66-2111	
岩手町	岩手町健康福祉課	0195-62-2111	0195-62-3104
岩手町	岩手町新型コロナウイルス感染症対策課・特別定額給付金支給相談窓口	0195-62-2111	
零石町	零石町社会福祉協議会	019-692-2230	
零石町	零石町新型コロナウイルス感染症対策本部	019-692-6474	
零石町	零石町健康子育て課・感染症相談窓口	019-692-2227	
零石町	零石町観光商工課・中小事業者相談窓口	019-692-6497	

※情報は抜粋して掲載しています

新型コロナ 生活情報

行政

盛岡市 ▼もりおかプレミアム付商品券を先着順で販売。4次募集8日~10月31日。1セット1万2千円の商品券を1万円で購入し、市内の店舗で使用できる。1人当たりの購入上限は5セット。使用期間は9月28日~21年2月14日。購入対象は市内に在住者以外にも拡充する。盛岡商工会議所ホームページかほかで申し込む。問い合わせは盛岡商工会議所(0120-512-789)▼10月17日開催の「もりおか八幡はしご祭り」中止。

宮古市 ▼市プレミアム商品券先着5万セットを10月31日まで販売。1セット5千円(500円×12枚、6千円分)、1人1泊まで購入可能。売り切れ次第終了。問い合わせは宮古商工会議所(0193-62-3233)▼18歳までの子どもがいる世帯に市プレミアム商品券配布。子ども1人当たり5千円分。対象の子どものみが市外に住所を移している場合は申請が必要。問い合わせは市子ども課保育係(0193-68-9088)

大船渡市 ▼宿泊観光回復事業「大船渡に泊まってハッピー大作戦」。市民を除く県民は1人1泊当たりの宿泊料金を最大4千

「いちのせき」宿泊応援を実施中。宿泊料に5千円から5千円を割引。宿泊施設に予約する際に割引を利用する旨を伝える。9月30日まで。

陸前高田市 ▼学生を持つひとり親家庭支援金。対象は18歳以上で親元を離れて生活している学生を持つひとり親(4月1日時点)。学生1人当たり3万円を支給する。問い合わせは市子ども未来課(0192-54-2111、内線202)

釜石市 ▼かまいしエール券(プレミアム付き食事券・商品券)を10月20日まで販売。1冊5千円(500円券×20枚、1万円分)で購入は1世帯1冊。問い合わせは市商工観光課(0193-27-8421)、釜石観光物産協会(0193-27-8172)▼県内に在住者が市内の宿泊施設を利用した場合、宿泊料から1人1泊3千円を割引くキャンペーンを実施中。10月31日まで。

二戸市 ▼市の持ち帰り可能メニューをまとめたウェブサイト「おうちでのへごはん」。店舗のメニューや値段、電話番号などが閲覧できる。

八幡平市 ▼肉用牛の導入経費補助。肉用牛の肥育農家が、市内産の子牛購入時に1頭当たり7万円、県内他市町村産の購入時に3万円を補助。問い合わせは市農林課(0195-74-2111)

奥州市 ▼10月の江刺産業まつり中止▼9月13日 市民芸術文化祭

九戸村 ▼村の持ち帰り可能メニューをまとめたウェブサイト「おうちでのへごはん」。店舗のメニューや値段、電話番号などが閲覧できる。

一戸町 ▼町の持ち帰り可能メニューをまとめたウェブサイト「いちのへごはん堂」。店舗のメニューや値段、電話番号などが閲覧できる

民間

遠野市 ▼あえりあ遠野 通常営業。レストランは当面、予約のみ▼遠野ふるさと村 9~16時。食堂は土日祝日のみ▼9月19、20日 遠野まつり中止。

陸前高田市 ▼広田湾漁協 オンラインショップキャンペーン 全商品が送料無料、10%割引。

葛巻町 ▼9月26、27日、くずまき高原牧場 in 中津川ミルク&ワインフェア中止。

岩手日報HPはこちら

岩手日報ホームページ(HP)で、さらに詳しい情報を公開しています。新型コロナウイルス感染症に伴う生活情報を募集しています。外出の自粛が続く中、家で楽しむための工夫やサービス、テイクアウトやデリバリーの営業情報など、ジャンルを問わず受け付けます。掲載の可否は当社で判断します。岩手日報本社、支社局のほか、お名前と連絡先を明記して手紙やメール、ファクスでお寄せください。岩手日報HPからも応募できます。

お手紙 〒020-8622 盛岡市内丸3の7 岩手日報報道部「新型コロナウイルス生活情報」係
 ファクス 019-623-1323
 メール tokumei@iwate-np.co.jp